

## 第72回愛媛国民体育大会選手選考基準

国民体育大会の選手選出については、次の事項を基軸として明確な選考を実施する。

東京都の選手として国民体育大会に出場できる条件は次の通りで、出場の意思のある選手は、国体選出基準を参考を確認すること。

### 出 場 の 条 件

- |       |   |
|-------|---|
| ア・中学生 | 東京都の中学校に通学し、かつ東京登録である者。   |
| イ・高校生 | 学校教育法の定める高等学校で、全日・定時制は問わない。東京都の高等学校に在学中で、かつ東京登録であること。通信制の高校に通うものは、東京都在住で東京登録の者。 |
| ウ・大学生 | 東京登録の者、または、東京都の中学校か高等学校を卒業後、他県で登録しているが、ふるさと選手として、東京都で参加の意思のある者                  |
| エ・社会人 | 東京登録の者（在勤・または在住）、または、東京都の中学校か高等学校卒業後、他県で登録しているが、ふるさと選手として、東京都で参加の意思のある者。        |
| オ・その他 | 東京登録であり、免除規定（2017/4.30頃提示の予定）に該当する者   |

#### （1）愛媛国体選手選出基準

ア．国民体育大会（以下、国体）の出場は、男子19名以内女子19名以内、合計29名参加することができる。但し、JAAF公認コーチ（旧・公認B級・C級コーチ）を取得している者が、男子または女子の監督として参加する場合、30名まで出場することができる。

イ．国体に出場の意志のある選手は、下記（エ）に示す、（公財）東京陸上競技協会（以下、東京陸上競技協会）の定める国体選考大会の、いずれかに出場することとする。

ウ．昨年度に制度化された「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」

・・・4月上旬に2017年度の概要が提示される予定・・・

（※注1）に該当する選手が国体に出場の意志がある場合、予選会を免除して国体に出場することができるようになった。ただし、この場合、本人から東京都の選手として国体に参加する意向があり、今年度の競技の実績を勘案して選手として選出される。

エ．東京都の指定する国体選考会

（成年・少年）

- ・第80回東京陸上競技選手権大会兼第72回国民体育大会東京都代表選手選考会
- ・第72回国民体育大会東京都代表選手選考会（成年の部 7/1.2）
- ・高体連強化競技会、または、選抜競技会での投擲の部（追って詳細は提示）
- ・第72回国民体育大会東京都代表選手選考会（少年の部 7/18 ※一部成年あり）

※少年Bの種目に出場の意志がある選手（中学校3年生・高校1年生）は、この大会に必ず出場すること。

(高校生)

- ・第70回東京都高等学校総合体育大会陸上競技対校選手権大会、及びその予選会
- ・第38回東京都高等学校選抜陸上競技大会兼東京都高等学校1年生大会

(中学生)

- ・第4回・第5回東京都中学生春季陸上競技会(4/6.7 4/22.23)
- ・第56回東京都中学校総合体育大会陸上競技大会、及びその予選会  
兼 第70回東京都中学校陸上競技選手権大会
- ・第63回全日本中学校通信陸上競技東京都大会

オ. 国体選考基準記録をもって選考をする。A標準を突破して、国民体育大会選考レース、また、(エ)の大会・または条件で、上位記録であった者から選考する。A標準突破のなかった種目については、B標準突破者の中から選考する。その場合は、入賞の可能性が高いと判断した者から選考する。いずれの記録も突破者が少ない場合は、国体出場の最大枠である29名以下の選考もあり得る。

参考となる記録については、平成28年4月1日より最終選考となる平成29年8月4日までのものを勘案し、下記の順序に従って選考する。

- ① A標準を突破し、その年の日本選手権・全国高校総体・関東中学に於いて実績のある選手を優先する(前年度の日本ジュニア・ユースも参考)。
- ② A標準を突破したもの
- ③ B標準を突破し、その年の日本選手権・全国高校総体・関東中学に於いて実績のある選手を優先する(前年度の日本ジュニア・ユースも参考)。
- ④ B標準を突破したもの
- ⑤ リレーにおいては、出場を前提として選手を選出する。従って、A・Bの標準記録の突破者がいない場合でも、リレーに関わる選手を選出する。

カ・ー1

本年の世界大会(世界選手権・アジアユース・U18世界選手権)に出場した選手については、国体選考会の参加は免除となる。

カ・ー2 . . . 2017年度は未定、4月30日頃に発表予定 . . .

昨年度の種目別日本ランク10位以内で日本陸連強化指定選手は、「トップアスリーの国民体育大会参加資格の特例措置」により、国体選考会の参加は免除となる。また、前年度のどの道府県で国民体育大会に参加していても、東京登録で、在住・在勤であれば、東京都の選手として出場する権利がある。

キ. 予選会に参加したもののうち、本年の日本選手権・東日本実業団・関東学生・高校総体(南関東・全国)・中学校関東大会での記録も参考とする。

ク. 国体の最終選考については、8月上旬に東京陸上競技協会普及強化委員会国体担当が原案を作成し選考する。それを元に直ちに行われる常務理事会の承認を持って国体選手を認定・選考する。

ケ. ふるさと制度を活用して、国民体育大会を出場を目指している選手については、国民

体育大会参加規定（注2）にのっとり、各選考大会の出場について東京陸上競技協会に直接問い合わせをすること。

コ・他府県から移籍している選手（実業団・大学・高校）についても、参加規定を確認し（注3）、詳しくは東京陸上競技協会に問い合わせをすること。

### （2）国体選手の決定連絡方法

○. 国体選手決定については、決定後、常務理事会の承認を経たのち、直ちに所属長または本人への郵送をもって通知し、併せてホームページ上で発表する。

### （3）決定後の流れ

○. 国体出場選手は、決定後に行われる合宿や練習会に参加すること。

※予定、内容については、本人通知またはホームページに掲載する。

### （4）国体選考基準記録

男 子

種 目	成 年		少 年					
	A 標準	B 標準	A		B		共 通	
			A 標準	B 標準	A 標準	B 標準	A 標準	B 標準
1 0 0 m	10"35	10"43	10"55	10"70	10"85	11"00		
2 0 0 m								
4 0 0 m	46"90	47"40	47"50	48"00				
8 0 0 m	1'50"20	1'51"00					1'52"00	1'52"80
1 5 0 0 m								
3 0 0 0 m					8'40"00	8'45"00		
5 0 0 0 m			14'15"00	14'25"00				
1 1 0 mH各種	13"85	14"00					14"50	14"80
4 0 0 mH	50"50	51"00	52"00	53"00				
3000 m S C								
5000 m W							21'10"0	21'20"0
10000mW	40'50"00	41'15"00						
(5000mW)	20'00"00	20'30"00						
走高跳	2m18	2m16					2m07	2m04
棒高跳			5m00	4m80				
走幅跳	7m70	7m60	7m40	7m30	7m05	6m90		
三段跳							15m00	14m80
砲丸投					15m50	15m00		
円盤投	54m00	52m00					46m50	45m00
やり投	72m00	70m00	65m00	62m00				
ハンマー投			59m00	57m00				

女子

種 目	成 年		少 年					
	A 標準	B 標準	A		B		共 通	
			A 標準	B 標準	A 標準	B 標準	A 標準	B 標準
100m	11"80	11"90	11"95	12"10	12"15	12"30		
200m								
400m	54"20	55"00	55"15	56"00				
800m	2"07"00	2"08"00	同左	同左	2"10"00	2"13"00		
1500m							4'20"00	4'25"00
3000m			9'18"00	9'23"00				
5000m	15'45"00	16'00"00						
100mH各種	13"65	13"80			14"15	14"35		
400mH			1'00"00	1'01"50				
10000mW (5000mW)	47'30"00 23'00"00	48'00"00 23'30"00	同左	同左				
走高跳	1m75	1m73	同左	同左				
棒高跳	4m00	3m80					3m65	3m50
走幅跳			5m85	5m70	5m75	5m65		
三段跳	12m75	12m50					12m20	12m00
砲丸投					12m80	11m50		
円盤投							42m00	40m00
やり投	54m00	52m00					48m00	47m00
ハンマー投	54m00	52m00						

800m・10000mW・走高跳は、成年・少年Aの共通

特例措置について

2017年度の特例措置については、4月30日頃に（公財）日本体育協会の参加規定が出た段階で、改めてホームページで提示する。

（注2）

○ふるさと制度の活用についての注意点

- ・ふるさとの出場については、日本体育協会の定める、国体参加規定に準ずる。

○新規卒業者の場合の国体出場規定

- ・高校・大学に入学し、前年に他府県で国体に出場した選手は、卒業年度に地元の国体選考会に出場していなければ1年目に東京都代表で国体に出場しない場合でも、翌2年目に国体に出場することができる。（注3）

※ 出場規定について、質問がある場合には、（公財）東京陸上競技協会に問い合わせること。